

第 42 回 放送番組審議会 議事録

令和 5 年 12 月 6 日 (水)
株式会社有明ねっこむ

■第 42 回 放送番組審議会

1.開催日時 令和 5 年 11 月 29 日(水)15 時 30 分～

2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室

3.出席者 委員長: 石丸 智士
副委員長: 香山 真理子
委員: 城戸 久信、松崎 義和、大石 教義、黒木雄平
(計 6 名)

放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)、永江 美穂(FMたんと局長)、中原敬介(副局長) 荒木はるか(放送番組審議会事務局)
(計 4 名)

4.議題 審議番組: 令和 5 年度大牟田市総合防災訓練生中継特番
2023 年 10 月 29 日(日曜日) 10:15～11:15 放送

5.議事の内容 ● 議題の番組について放送局から概要を説明した。

【放送局】この番組は、イオンモール大牟田で開催された大牟田市総合防災訓練の生中継特番です。

MC は、FM たんとパーソナリティのアッキーが務めました。防災訓練は午前 10 時からお昼 12 時まで実施されましたが、その内 10 時 15 分からの 1 時間、災害対策本部設置訓練、救助ヘリ飛行等、参加機関の方へのインタビューを交え会場から生放送しました。

● 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。

【 委 員 】 放送終了時間が11:15までだか、防災訓練はそこからが訓練の山場だったのではないのでしょうか。

【 放送局 】 この生中継特番は大牟田市の提供番組です。
予算の兼ね合いで2時間の訓練のうちの1時間番組となり何時から何時まで、どこを中心に放送するかを市と打合せして、この放送時間帯になりました。

【 委 員 】 近年、自然災害が多い中、市民の防災意識を高めるにはこのような特番は非常に良いと感じました。

【 放送局 】 前回までは、イオンモール店内のありあけコートステージを拠点にイベント型式で放送をしていましたが、今回は訓練の様子を伝える事に特化し、屋外からの中継放送としました。

【 委 員 】 とても臨場感があって、聴いていると訓練の様子が浮かぶほどで、パーソナリティもわかりやすく伝えていたと思います。
たとえば訓練ではなく実際に災害が起こった時は、市とはどんな連携を取っていますか。

【 放送局 】 実際の災害時には、24 時間体制で市から提供される情報を中心に、他の機関より独自に入手した情報も含め放送しています。

【 委 員 】 台本は作成するのですか？パーソナリティの言葉の区切り方が気になりました。作成してあるのであれば、読み込みが足りないような気がします。

【 放送局 】 台本はもちろん入念に作成します。今回確かに区切りが気になる部分がありました。パーソナリティには、事前にしっかり読み込むよう指示します。

【 委 員 】 パーソナリティは一箇所から放送しているのですか？音質がかなりクリアですね。

【 放送局 】 会場を移動しながら放送しており、場内アナウンスは会場のスピーカーの音を拾って流しています。局として音質のクオリティにはかなり注力しており、日々試行錯誤しながら音質向上に努めています。

6.次回の会議 令和6年1月(日時は未定)

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和5年12月6日掲載)